



さくらたより

令和5年度 学校だより
NO. 29
令和6年3月15日発行
山形市立桜田小学校

令和5年度「修了式」 - 1年間の自分の成長を確かめる -

紆余曲折はありましたが、令和5年度の課程を修了することができました。これまでのご協力に、改めて感謝申し上げます。

15日の式において、1年間を振り返り、各学年短く話をしました（以下は6年生への言葉抜粋）。1年間のそれぞれの成長ぶりを、ご家族の方も一緒に喜んでいただけたら幸いです。

18日は卒業式。スター学年のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今回は5年ぶりに全校生が式場に集まり、お祝いです。

(1～5年生へ 略)

6年生のみなさん

この一年、学校をリードしました。みなさんの落ち着いた生活ぶり、やるべきことをきちんとやる姿は、後輩たちに引き継がれます。金管バンドも、コロナ禍から復活し、よく頑張りました。山形市の発表会で、きれいで軽快な音楽を奏でることができたのも、6年生がリードしたからです。みなさんの姿にあこがれ、3年生がたくさん入ってくれましたね。卒業してからも、金管バンドのこと、気にかけてくれると嬉しいなあ。

(略)

卒業文集に書き残した文章には、特に心に残っていることやがんばった出来事、将来こんな人になりたいという思いが綴られていました。(例えば、白鷹山登山、たてわり班の班長、児童会委員長、山形市陸上記録会、水泳記録会、運動会、スポ少のキャプテンなど) (例えば、どんなことも一度や二度の失敗であきらめない人に、仲間を大切にする人に、苦しんでいる人がいたら助ける人に、計画性と臨機応変とを兼ね備えた人に…などなど)

小学校で培った力を元に、未来を創ろうとする決意のようなものを感じ、嬉しくなりました。この仲間たちと、一緒に暮らしを創ってきました。知らず知らず、「自ら考え、動いていく力」がつかえました。18日、胸を張って卒業してください。

(先生方への感謝 略)

「学ぶ」とは、ものの見方が変わり、行動が変わっていくこと。

「学校」は、人と人との出会いにより、お互いが影響し合い、これまでの自分を塗り替え、高めていくところ。ここにいる仲間と、先生方と、お互いの関わりから、たくさんのことを学びとった1年間です。



「ありがとう」って言える、「ありがとう」って言われる人になってほしい - そんな願いを込めた“だるまさん”でした - 願いが叶いました。完全に、目を開きましたよ。

(半開きのだるまの目、ぱっちり描き入れる)

ここにいる全ての人。お互いがお互いに、感謝し、感謝される存在です。ありがとうの気持ちを込めて、お互いに拍手をしてくれると嬉しいなあ。(略)

卒業式後、約3週間の春休みに入ります。新たな自分に出会うための、心と体と頭脳の準備期間でもあります。自分をコントロールして過ごしてくださいね。

修了式 児童代表の言葉（要旨）（3月15日 体育館ステージ上で）

1年 S・H 1年生でがんばったこと3つ。①計算カードの練習。何回も練習したら、速く正確にできるようになった。②縄跳びのあや跳び。苦手だったが、何回も練習したらいつの間にかできるようになった。今では連続20回以上できる。あきらめないで練習を続けてよかった。③運動会。応援賞とったし、60m走2位になって嬉しい。2年生になったら、新1年生に桜田小の楽しさ、勉強のこと、掃除のやり方を優しく教えてあげて、自分もよいお手本になる。

「何回も何回もあきらめないで練習を続ける」どんなことにもつながることですね。この小さな成功体験を重ねることが、“自分で自分を高めていける人”につながります。

Hさんが、新1年生に優しく教えている姿が目に見えますよ。

3年 S・K がんばったこと。①給食の時に好き嫌いをしないこと。私はいつも嫌いなものを残していたが、3学期がんばったら食べられるようになった。②書写。半紙を十字に折って大筆で文字を書くのががんばった。③社会科見学で、郷土資料収蔵書へ行って昔の道具を見学し、昔のことを知った。4年生でも、いろいろなことに挑戦する。

食べることは、人の体と心と頭脳をつくる大本です。これからも、バランスよく食べられますように。

昔のことを学ぶことも大事です。道具など「今」とはだいぶ違いますよね。これからの時代、どう変わっていくのか、楽しみです。

4年生で何が待ち受けているのでしょうか。何でも、まずはやってみる事です。

5年 Y・M この一年、充実した一年だった。自分が挑戦したいことに、逃げずに挑戦できたから。運動会では、応援団になった。最後まで本気で取り組んだおかげで、応援賞をいただくことができた。最後まであきらめない力を身につけた。6年生を送る会では、6年生の思い出をパワーポイントで製作した。最後まできっちり仕上げることができた。やると決めたことはきちんと最後までやりきる力がついた。一方で、まだ足りないと思うこともある。「見通しをもって準備すること」だ。学習発表会で原稿をつくる時など、予定よりどんどん遅れたことから、見通しを持って行動することが大切と学んだ。4月から6年生。仕事量が多くなり、責任が重くなる。大変だと思うが、全校生と仲良く生活していけるようにがんばる。

自分のことをよく見つめ、文章に表しました。すばらしい。この一年で確実に力をつけました。足りないところも自覚できたことで、今後更に向上できることでしょう。

自分のことを振り返ることができるMさん。いいリーダーになれそうです。

本は心の栄養

たくさんの子が図書室から本を借りています。読書が日常生活に位置付いていることを感じます。子どもたちには、ゲームをしのぐ本の魅力に気付いてほしいです。読書は“人”との出会いです。その人々はみなさんの内言を豊かにし、前向きな生き方を教えてくれます。大人になっても本が常に手元にある生活を送って欲しいと願っています。その土台づくりを、ご家庭で、そして小学校で。



【10月～3月】50冊越え

学年	氏名
5年	N・Sさん
5年	S・Hさん
4年	S・Kさん
4年	I・Iさん
1年	S・Kさん

山形市スポーツ協会 表彰

【敢闘賞】

6年 O・T (サッカー)
2023山形県ジュニアサッカー大会
(U-12) 2位

【敢闘賞】

2年 O・H (卓球)
山形県選手権兼全日本バンビの部県予選
2位

山形市読書感想文コンクール

【優良】3年 N・R
【入選】2年 T・I 6年 W・S

山形市読書感想文コンクール

【入選】2年 O・A 2年 S・Y
2年 N・R 3年 W・M
4年 S・K 5年 O・S